

景 観 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 自 己 評 価 書

シミュレーションの距離帯		評 価 基 準（考 え 方）	評 価 対 象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠 景	●背景との関係が読み取れる距離 ↓ 位置・規模を評価 （目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20 倍 例）高さ 50mの場合 距離 1,000m 程度	●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。 ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げていないか。	① 位置 —	—	評価対象外 見えない
			② 規模 —	—	評価対象外 見えない
			③ スカライン —	—	評価対象外 見えない
中 景	●建物の周辺の状況がわかる距離 ↓ 主要部位を評価 （目安 100～500m程度	●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。 ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。	① 基調色 ☑	☑	基準マンセル値内で計画しております。
			② おおまかな形状 ☑	☑	道路からセットバックし、圧迫感を感じさせないよう配慮しております。
			③主要な付属物 〔 屋上設備 屋上階段 ベランダ等 〕 ☑	☑	屋上階段無、設備はパラペット立ち上げてスカイラインを調整し見えにくい配慮しております。
			④特殊な材料 (金属やミラなど) —	—	なし
近 景	●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離 ↓ ディテールを評価 （目安 50m程度）	●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。 ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。	①壁面意匠 〔 ファサード意匠 側面の仕上げ 壁面設備 〕 ☑	☑	基準マンセル値内で計画しております。
			③ 看板類 ☑	☑	周囲に影響を及ぼす計画となっております。
			④ アクセントカラー —	—	特になし
			⑤ 低層部の雰囲気 ☑	☑	落ち着いた印象を与える色彩とし、基準面積内で計画とします。
			⑤敷地利用 (緑化など) ☑	☑	管理上の問題から植栽計画はありません。
点 地	●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離 ↓	●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。 ・道路敷が雑然としていないか。	①低層部のディテール・意匠・材料・構造 ☑	☑	南側道路路際をセットバックさせ、大判タイルを用いて意匠性に配慮しています。

	道路際の造作を評価 (目安 10m前後)	・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。	②敷際のデザイン 敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど	☒	駐車場を裏側に配置し、正面の見え方に配慮しています。
--	-----------------------------	---	--	-------------------------------------	----------------------------